

令和 2 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市輝北体育館ほか 2 施設
所在地	鹿屋市輝北町上百引 2635 番地外
指定管理者	名称： <u>株式会社 ティエム</u> 代表者： <u>代表取締役 神丸 隆彦</u> 住所： <u>鹿屋市輝北町上百引 3584 番地 3</u> 連絡先： <u>099-486-0758</u>
モニタリングの実施経過	●書類審査（月例及び年度報告書） ●現地調査 ●ヒアリング調査
担当部課 （問合せ先）	市民生活部 市民スポーツ課 電話 0994-31-1139 内線 3591

【モニタリングの総合評価】

全体的に良好な管理、運営が行われている。

施設の運営については、条例に則し適正で公平な利用受付、許可を行っている。

施設の利用状況については、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴う屋内施設の閉鎖（4月21日～5月10日）及び台風接近に伴う全施設の閉鎖（9月6日及び7日）による利用者数及び利用料金の減少要因があったものの、地元を拠点とするプロスポーツチームの発足や、市外利用者の増加、長時間利用の増加などにより、運動場及び多目的グラウンドについて利用料金収入が増加した。

施設の安全対策については、訓練の実施、緊急時対応マニュアルの作成、職員の指導により、利用者が安心して施設を利用できるよう環境づくりに努めている。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・芝及びクレイグラウンドの維持管理
- ・老朽化進む各施設の適切な管理

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・老朽化した施設（体育館）や設備の計画的な整備又は修繕
- ・施設利用促進対策の検討

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

①合目的性・公平性・効果性

○利用者数については、体育館、運動場について新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているが、多目的グラウンドについては増加している。増加の理由として、輝北地区を拠点に活動するプロソフトボールチームが発足したことが要因となっている。

○利用料金については、全体的に利用者数が減少している中においても、増加している。これは、前年に比べ減免を伴わない利用や市外の利用者が増加したことが要因である。

施設	令和2年度		平成元年度	
	利用者数	利用料金	利用者数	利用料金
輝北体育館	3,687	130,035	4,985	167,385
輝北運動場	2,653	78,820	9,383	56,650
輝北運動場照明	—	24,270	—	28,170
百引多目的グラウンド	790	41,850	556	12,510
百引多目的グラウンド照明	—	41,580	—	0
合計	7,130	316,555	14,924	264,715

○施設の予約及び許可等については、概ね適切に行われている。

○利用者の要望について、指定管理者で対応可能なものについては、即時対応するように努めている。また、多目的グラウンドへの自動販売機の設置や老朽化している倉庫の修繕に関する要望が寄せられている。

○管理者名、連絡先、料金等の指定管理者に関する情報の表示を行い、利用者の利便性の向上に努めている。

(2)業務内容

①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

○除草剤を散布する際は、利用がないときに、看板を設置して実施しており、薬害対策に取り組んでいる。

○クレイグラウンドについては、利用者のグラウンド整備のほか、指定管理者のブラッシング等により整地を行っている。

○例年であれば、利用率向上のため地域の事業所や高校へ施設の利用案内を行っているが新型コロナウイルス感染防止のため、実施ができなかった。コロナ禍においても工夫した取り組みを検討し、利用者を獲得していく必要がある。

②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

○仕様書に即した年度計画を作成し、業務の実施に当たっている。

○申請書等の個人情報、鍵付きのキャビネット内で保管を行っている。

○出納事務は、会計主任が行い、業務主任がチェックする体制がとられている。

③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

○毎日の施設点検のほか、毎年、防災訓練の実施及びAED研修を受講している。また、防災訓練の際に、避難路の確認等も行うなど施設及び利用者の安全に配慮している。

④安全性（安全管理・緊急時等の対応）
○毎日の施設点検のほか、年2回の消防訓練及び2年に1回のAED講習を受講し、施設及び利用者の安全に配慮している。
⑤社会性（環境等への配慮）
○環境への配慮として、節電・節水に取り組んでいるほか、裏紙の再利用や緑のカーテンを実施するなどの取り組みを行っている。
(3)事業収支
①経済性
○月例報告及び年度報告書から、管理経費は効率的、効果的に使用していると判断する。
○複数の業者から見積もりを徴取するなど、管理経費の節約に努めている。
(4)団体の経営状態
①経営の健全性
○財務諸表等会計関係書類及び過去の実績から、経営について問題はないと判断する。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市輝北体育館ほか2施設		所管課：市民スポーツ課
所在地	鹿屋市輝北町上百引2635番地		設置年月日：昭和56年7月1日
設置目的	市民一般の体育及びスポーツその他健康で文化的な各種行事並びに集会の用に供するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市体育館条例、鹿屋市運動場条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	14,970㎡
		延床面積	1,732.05㎡
	《有料》条例に基づき、使用量を徴収		
事業概要	(1) 私用の許可等に関する業務 (2) 維持管理に関する業務 (3) 市が必要と認める業務		

2 経営分析評価指標

①事業収支	5,808円	④外部委託費比率	6.6%
②利用料金比率	2.3%	⑤利用者あたり管理運営コスト	1,891.6円/一人
③人件費比率	30.0%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	927.4円/一人

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	359日	357日 ※台風接近により9月6日～7日の2日間全施設閉館とした。 ※屋内施設については、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を受け、4月21日～5月10日の20日間閉館とした。
開館時間	午前8時30分～午後10時	午前8時30分～午後10時
事業開催		

4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
貸し室等 利用回数	輝北体育館	
	輝北運動場	
	輝北運動場照明	
	百引多目的グラウンド	
	百引多目的グラウンド照明	
	計	
施設利用 人数	輝北体育館	3,687
	輝北運動場	2,653
	輝北運動場照明	0

	百引多目的グラウンド		790
	百引多目的グラウンド照明		0
	計		
相談件数			
講座参加者数			
合 計	利用回数		348
	利用人数		7,130

5 事業収支

(単位：千円)

項目		実施計画(事業計画書より)	実施内容(実績)
貸し室等利 用収入	輝北体育館		130
	輝北運動場		79
	輝北運動場照明		24
	百引多目的グラウンド		42
	百引多目的グラウンド照明		42
	計	195	317
指定管理料		5,941	6,612
その他収入			6,558
前年度繰越			6
収入計(A)		6,136	13,493
人件費		4,033	4,045
光熱水費		439	406
修繕費		363	439
管理費		1,003	1,116
委託料		298	895
その他			6,586
支出計(B)		6,136	13,487
収支(A) - (B)		0	6

指定管理者自己評価表

令和 3 年 6 月 1 日

指定管理者 （株） テイエム

施 設 名 輝北体育館ほか

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	③・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	③・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	③・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	3・②・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	③・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・②・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・②・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・②・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・②・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・②・1
総合評価 (所感)	②体育館・・新型コロナウイルスの影響で利用者の減少及び急なキャンセルがあるため対応に苦慮しています。 グラウンド・・祭り、イベント、大会が全てキャンセル。その他練習利用は通常。	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通じた指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。